

# 令和4年度 精神科訪問看護研修会～精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修会～

**募集期間** 第1回：3月1日～4月15日 第2回：7月1日～8月15日 第3回：10月1日～11月15日  
**配信期間** 第1回：4月21日～7月31日 第2回：8月19日～11月30日 第3回：11月21日～令和5年2月28日  
**対象** 訪問看護ステーションの精神科訪問看護に従事する保健師・看護師・准看護師・作業療法士  
**定員** 第1回 400名 第2回 300名 第3回 300名  
**受講料** 会員 15,000円 非会員 25,000円  
**後援** 厚生労働省(予定)  
**ライブ配信** 第1回：5月27日(金)、5月28日(土)、6月18日(土)、7月22日(金)  
 第2回：8月27日(土)、9月16日(金)、10月14日(金)、  
 第3回：12月16日(金)、12月17日(土)、令和5年1月27日(金) ※ 修了証の発行にはライブ配信(グループワーク)の参加が必須です。各回のライブ配信日から1日を選んでください。

一般目標(GIO) 精神疾患をもち地域で暮らす人を精神保健医療福祉チームで支援するために、必要な知識・技術・態度を習得する

講義名	到達目標(SBO)	講義内容	講義時間	講師	配信方法	厚生労働省が示す研修項目(令2保医発0305第4)
精神科訪問看護の実際① ・利用者との信頼関係構築 ・対人関係の援助	精神科訪問看護の現状を理解する。精神科訪問看護における利用者との信頼関係構築・対人援助の方法について理解する。	精神障がい者への対応における留意点/セルフケア能力を育む/利用者主体の原則/信頼関係構築のためのコミュニケーション	2時25分	訪問看護ステーションのみ 統括管理責任者 進 あすか 氏	オンデマンド配信	(オ)利用者との信頼関係構築、対人関係の援助
精神科訪問看護の実際② ・日常生活の援助 ・症状悪化の早期発見	精神科訪問看護を行う際の特徴を理解する。精神科訪問看護のサービス提供までの流れを理解する。精神科訪問看護における日常生活の援助のあり方について理解する。精神科訪問看護における、症状悪化の早期発見ができる。	精神科訪問看護の基礎的な留意点/精神障がい者の疾患を有する者に関するアセスメント/利用者の生活史や入院歴、現在の病状や服薬の状況等について情報収集し、変化に対応する/再発を予防しQOLを高める支援を行う	4時01分	訪問看護ステーションのみ 統括管理責任者 進 あすか 氏		(ア)精神疾患を有する者に関するアセスメント (イ)病状悪化の早期発見・危機介入 (カ)日常生活の援助
精神科訪問看護の実際③ ・危機介入 ・医療継続の支援	精神科訪問看護における危機介入の状況を理解する。医療継続への支援方法を理解する。	悪化の兆候をアセスメントし対処行動を共有する/早めに危機介入のタイミングを検討し、クライシスプランにつなげる/医療継続の動機づけや主治医との関係性を把握し、助言する/家族への支援		訪問看護ステーションのみ 統括管理責任者 進 あすか 氏		(イ)病状悪化の早期発見・危機介入 (工)医療継続の支援
精神科リハビリテーションの概念と実際	精神科リハビリテーションの概念と実際を理解する。地域における多職種との連携を深められるよう現状を理解する。	社会活動参加への支援/多職種の役割の理解と連携について/精神科リハビリテーションの概念と取り巻く状況	2時19分	帝京平成大学健康医療スポーツ学部 作業療法学科講師 勝嶋 雅之 氏		(キ)多職種との連携
精神障がい者の理解・精神科疾患における薬物療法	精神障がい者の疾患・精神症状の基本的知識を理解する。基礎的な知識としての薬物療法・服薬管理・副作用の留意点を理解する。	精神科疾患について/薬の作用・効果、副作用について/利用者に合わせた服用方法などへの支援(精神科薬物療法に関する援助)/多職種との連携について	2時58分	国立精神・神経医療研究センター病院 精神科医 佐竹 直子 氏		(ウ)精神科薬物療法に関する援助 (キ)多職種との連携
保健・医療サービス提供システム	精神保健医療体制について理解する。精神保健医療福祉制度の現状と動向を理解する。利用者・家族を地域で支えるための社会資源や利用可能な制度の活用について理解する。相談できるネットワークを構築する。	精神保健医療体制について/精神保健医療福祉制度の現状と動向/地域の中での精神保健医療体制のあり方について/多職種との連携について	1時54分	一般社団法人ソラティオ 次長 小泉 宏和 氏		(キ)多職種との連携
精神科訪問看護の理解とアセスメント	精神科訪問看護を取り巻く状況や歴史、背景を知ることができる。精神科訪問看護の目的を理解する。	精神障がい者の現状/精神科訪問看護を取り巻く状況や関連する制度/精神科訪問看護の効果/多職種との連携について/精神科疾患を有する者に関するアセスメント	3時44分	国立看護大学校長 萱間 真美 氏		(キ)多職種との連携 (ク)GAF尺度による利用者の状態の評価方法
看護職のGAF評価	GAF尺度によって利用者を評価できる。	GAF評価の仕組みとポイント/GAF尺度による利用者の状態評価	2時01分	北村メンタルヘルス研究所 所長 北村 俊則 氏	(ク)GAF尺度による利用者の状態の評価方法	
GAF評価の実際～演習～	GAF尺度によって実際に評価を行うことができる。	事例からGAF評価の演習/事例のGAF評価の開設	1時00分	駒沢女子大学看護学部看護学科専任講師 畠山 卓也 氏 井之頭病院 教育科長 渡辺 純一 氏	13時00分～14時00分	(ク)GAF尺度による利用者の状態の評価方法
地域のチームで支えるための事例検討の進め方	理解を深め実践する力をつけるための事例検討を行う事ができる。	実践に役立つ効果的な事例検討の仕方/事例検討を進めるためのポイント	30分	国立看護大学校長 萱間 真美 氏	14時00分～14時30分	
事例検討～グループワークおよび全体発表～	グループワークで事例を検討することにより、理解を深め、実践する力を身につける。受講生同士が交流し、精神科訪問看護についてのそれぞれの問題意識を共有する。	グループワークによる事例検討、全体発表	2時00分	聖路加国際大学精神看護学研究室教員 ほか	14時45分～16時45分	
ライブ配信日や講義時間、講師などが変更となる場合があります。			22時52分			